



## 備

- 一 兵科分隊長ノ中二人ハ砲臺長、一人ハ見張指揮官兼航海長輔佐官、十二人ハ飛行部指揮官ニ充ツ
- 二 機關科分隊長ノ中五人ハ整備部、一人ハ機械部、一人ハ罐部、一人ハ電機部、一人ハ補機部ノ各指揮官ニ充ツ
- 三 必要ニ應ジ軍醫長タル兼務分隊長ニ代フルニ軍醫少佐又ハ軍醫大尉ノ専務分隊長ヲ以テシ乗組軍醫科士官一人ヲ減ズルコトヲ得主計長及乗組主計科尉官ニ付亦之ニ準ズ
- 四 乗組兵科尉官ハ飛行隊附又ハ飛行部附ニ、乗組機關科尉官ハ整備部附ニ充ツ
- 五 特務中少尉及兵曹長ノ中一人ハ掌砲長、一人ハ掌運用長、一人ハ信號長、一人ハ掌通信長、一人ハ操舵長、一人ハ電信長、二人ハ砲臺部附ニ充テ信號長又ハ操舵長ノ中一人ハ掌航海長ヲ兼シムルモノトス
- 六 飛行特務中少尉、飛行兵曹長及整備特務中少尉、整備兵曹長（搭載諸兵器ノ整備ニ従事スルモノ）ノ中一人ハ掌飛行長、五十九人ハ飛行隊附又ハ飛行部附ニ充ツ
- 七 整備特務中少尉及整備兵曹長ノ中一人ハ掌整備長、一人ハ發著機部附、十六人ハ飛行部附又ハ整備部附ニ充ツ
- 八 機關特務中少尉及機關兵曹長ノ中一人ハ掌機長、二人ハ機械長、二人ハ罐長、一人ハ電機長、一人ハ補機長ニ充テ工作特務中少尉及工作兵曹長ノ中一人ハ掌工作長、一人ハ工業長ニ充ツ
- 九 主計特務中少尉ノ中一人ハ掌經理長、一人ハ掌衣糧長ニ充ツ
- 十 飛行科及整備科ニ於ケル特務士官、准士官、下士官及兵ノ定員ハ必要ニ應ジ各其ノ合計員數ヲ超過セザル限リ飛行科、整備科又ハ機關科ヲ以テ各指定科別ニ代フルコトヲ得
- 十一 飛行機ヲ搭載セザルトキハ飛行長、飛行隊長及整備長竝ニ前諸號中ノ飛行科及整備科職員（機關科分隊長、整備特務中少尉又ハ整備兵曹長ノ中一人ヲ除ク）、乗組軍醫少佐、軍醫科尉官ノ中二人、飛行兵曹、整備兵曹、看護兵曹一人、主計兵曹三人、整備兵、看護兵三人及主計兵二十人ヲ置カズ（飛行機ノ一部ヲ搭載セザルトキハ概ネ其ノ數ニ比例シ上掲ノ人員ヲ置カザルモノトス）但シ飛行科、整備科下士官及兵ニ限リ其ノ合計員數ノ十分ノ一以内ノ人員ヲ置クコトヲ得
- 十二 中少尉ノ中四人ハ特務中少尉又ハ兵曹長ヲ以テ、機關科分隊長ノ中一人ハ機關特務大尉、二人ハ整備特務大尉ヲ以テ、機關中少尉ノ中一人ハ機關特務中少尉又ハ機關兵曹長、一人ハ工作特務中少尉又ハ工作兵曹長ヲ以テ充ツルコトヲ得

## 考